



令和8年度

# 国語

(9 : 10 ~ 10 : 00)

## 注 意

- 1 検査開始のチャイムがなるまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙の1ページから10ページに、問題が一から三まであります。  
これとは別に解答用紙が1枚あります。
- 3 問題用紙と解答用紙に受検番号を書きなさい。
- 4 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

受検番号	第	番
------	---	---

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

① 人類の発展の歴史を考えるとAI（特にChatGPTのような言語生成AI）が「言語を扱えるようになった」という事実は、今後のAI自体の発展と人類の未来を考えるうえで特別な意味を持っている、というのが私の考えです。

地球と生物、人類の歴史について振り返ってみます。

地球が誕生したのは46億年前です。誕生直後は宇宙に浮かぶただの岩石の塊だった地球は、その後の降雨によって「水のワクセイ」<sup>①</sup>に変わります。約40億年前には、海のなかから奇跡的な偶然によって「生物」が誕生します。そして、5億年前に生物は海から地上へと進出し、地表は植物にオオわれ、大地には大小さまざまな生き物が動き回るようになります。

その後、生物たちがひたすら生命のサイクルを繰り返す歴史の果てに、人類の歴史が始まります。ただ、大変賢いはずのわれわれ人類の祖先が誕生しても、そこから続く数百万年は、その生活にも地球の様子にも大した変化はありませんでした。

約20万年前には「ホモ・サピエンス」、つまり今の私たちと生物学的には同じ種が出現しました。見た目も能力も今の私たちと同じはずですが、この段階にいたってもなお、大した変化はありませんでした。

約5万年前、このあたりから人類や地球の様子が加速的に変化していきます。この5万年という期間は、地球の歴史はもちろん、人類の歴史のスケールで考えてもとても短い時間です。地球の歴史46億年の約9万分

注1

の1、人類の歴史700万年の140分の1程度にしすぎません。

地球ができてから、さらには人類が誕生してからも、ほとんどの期間は何も起こらなかったのに、<sup>1</sup>つい最近である5万年前から人類は、その気になれば地表を焼き尽くす兵器を開発し、月に到達し、機械で地球をおおい、環境を破壊し尽くし、人以外の生物を蹂躪し、<sup>注2</sup>現在はAIなるものを生み出そうとしています。人類をして、この5万年の大変化を起こしたものはなんだったのか。

これには<sup>③</sup>シヨセツありますが、その要因として多くの研究者から筆頭に挙げられているのは、「言語の獲得」です。世界的なベストセラー『サピエンス全史』（邦訳版は2016年、河出書房新社）の著者であるユヴァル・ノア・ハラリなどは、この言語の獲得、つまり人類の新しい思考と意思疎通の方法の登場を指して「認知革命」と呼んでいます。

言語の柔軟性によって、情報共有の幅が広がるだけでなく、現実には存在しない概念を表現し理解できるようになった。それが人間のコミュニケーションをより強固にした。自分が今考えていることを整理し、創造と発明ができるようになった。<sup>2</sup>これらが、言葉の獲得を人類の加速的な発展のきっかけと考える理由です。

注3

旧約聖書の創世記には、人間が協力して天まで届く「バベルの塔」をつくらうとしたことに怒った神が、それまで統一されていた人間の言語を互いに理解できないように分割してしまった話が出てきますが、これは人間の「言語」がそれだけ強力であることを示した話でしょう。言語によって、他の生物とは<sup>④</sup>カクゼツした知能を得た人類はその後、農耕、文字、鉄などを生み出し、コンピュータやAIが存在する現在にいたる

急速な発展を遂げることになります。

2 さて、1900年代中盤にはコンピュータが発明され、AIの概念が登場しました。AIの発展は冬の時代<sup>3</sup>を挟みつつも着実に進んでいたのですが、2012年にディープラーニング<sup>4</sup>が登場すると、再び加速的な発展の兆候が出てきます。

東京大学の松尾豊教授はディープラーニングの登場直後、それを地球上の生物の歴史における「眼の誕生」にたとえました。原始的な生物は、単純な刺激に対する応答で動いていましたが、「眼の誕生」によって視覚情報が優位になった結果、生物の見た目や生存戦略に大きな変化が生じ、生物の多様性につながりました。

ディープラーニングは、機械、あるいはその機械を使う企業活動に、外界のデータから視覚（画像）も含めた膨大な情報を活かせるようになったという意味で、「眼の誕生」と共通する点があるというたところ<sup>4</sup>です。

先ほど言語の獲得によって起こった大きな変化の話をしました<sup>4</sup>が、生物の歴史では眼の誕生も同じくらい大きな役割を果たしたと言えます。現在の生成AIは上記の説からさらに進んで、人類あるいはもっと一般的な生物の歴史で言うところの「言語の獲得」が起こった段階である、そう私は考えています。

ハラルの言葉を借りて、「AIの□□と表現してもいいでしょう。ChatGPTの台頭から約1年、その短い間に起こった生成AIや社会の加速的な変化を考えると、まさに今日の前でこのような革命が進行している気がします。そして、その加速的な変化によって、そこまでは長くない

い、意外と近い未来には、われわれが想像もできないような機械の知能と、それによって変革させられた社会が実現するのではないかというのが私（や一部の研究者）の考えです。

言語の獲得に限らず、産業革命以降の人口や経済の急速な発展にも見られる、いわゆる「指数関数的な成長」が始まる起点、人類の時代をそれ以前とそれ以降に分けるようなイベントが起きているのが、まさに今ではないでしょうか。

（今井翔太著「生成AIで世界はこう変わる」による。）

（注1）AI＝人工知能。

（注2）蹂躪＝ふみにじること。

（注3）バベルの塔＝旧約聖書にある伝説の中の、未完成の塔。

（注4）ディープラーニング＝深層学習。人間の脳を模倣した深いニューラルネットワークを学習する手法。現在の生成AIはこれによって実現されている。

1 ①～④のカタカナに当たる漢字を書きなさい。

2 1 つい最近である5万年前 というのはなぜですか。「5万年前」という書き出しに続けて、四十字以内で書きなさい。

3 加速的な発展 とあるが、この言葉とほぼ同じ意味で用いられている別の表現を②の文章中から十字以内で抜き出して書きなさい。

4 冬の時代 とあるが、ここでの意味として最も適切なものを、次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

ア 停滞期    イ 暗黒期    ウ 老年期    エ 成熟期

5 言語の獲得によって起こった大きな変化 の説明として正しくないものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。  
ア 現実には存在しない概念を表現できるようになり、コミュニケーションが強固になった。

イ 自分が今考えていることを整理することで、創造と発明ができるようになった。

ウ 情報共有の幅が広がり、「バベルの塔」のようなものまで作れるようになった。

エ 他の生物とはカクゼツした知能を得て、農耕や文字や鉄などを生み出した。

6  に当てはまる適切な語を、文章中から五字以内で抜き出して書きなさい。

問題は、次のページに続きます。

二 二次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

独りでご飯を食べるお年寄りが増えていると聞きます。

とくに単身の世帯の方にとって、誰かと予定をあわせて一緒にご飯を食べるのはなかなか面倒なことでしょう。どうしたって時間も手間もかかってしまう。

でも、誰かと共に食べる時間は大きな意味のあることなんです。

1 共食は、とても音楽的な時間です。

共に①奏でるようなブレイク注1があつて、中心的な演奏があつて、最後の後奏がある。前菜からメインディッシュ、デザートへと移っていく流れを楽しむことは、身体的な体験として音楽とよく似ています。

視覚と聴覚は人と人が共有しやすい感覚です。誰が見たって同じ光景だし、誰が聞いたってそこで鳴っている音に変わりはない。でも、匂いや味は、個人にとつて感じ方がとても異なります。

食事は、そんな互いの嗅覚や味覚を総動員して、個人的な感覚を共有するところが、身体のaでつながりあう音楽的コミュニケーションと近いのです。一人で食べたなら10分で終わるご飯でも、3、4人で食べたなら、時間がかかりますよね。互いに食べる速度を合わせるし、異なる感覚を「同調」させる時間だからこそ、共にご飯を食べると信頼関係が生まれるのです。

「食事」という文化の起源は、700万年前にチンパンジーとの共通祖先から分かれた直後、人間が二足歩行を始めたことにあります。木の实とかキノコとかの食物を、自分の食べるぶん以上のものを採って自由に

なった手で運び、みんなに分けて一緒に食べるようになり、「食事」という文化が生まれた。

サルは自分中心で、自分で確保した食べ物を分配しません。強い方が餌場を②独占して、小さい弱いサルは他に行つて探すというルールで③秩序を保っています。チンパンジーやゴリラは、採ってきた食べ物をメスや子どもに「おねだり」されれば分け与えますが、しぶしぶやるわけです。

人間だけが、自分から気前よく仲間に食べ物を分かち合います。自分の取り分を少なくしても、「食べて、食べて」と大盤振る舞いしたがりますよね。ご高齢の方は、お孫さんなんか来たらとくに。それは、みんなが喜んで楽しく食べる顔が見たいから。

食事は単に個々の食欲を満たすものでなく、他者との関係をつくるうえで共同体になくってはならない、2人間に固有の文化なのです。

人間はサルに近い仲間ですから、毎日食べます。ライオンやヒョウのような動物だったら3、4日に一度で十分なのですが、人は一日のなかでも二度三度と食事をとり、他人と食卓を囲むわけです。これは共感力を育む、またとない社交の機会です。

食事は対面するのに理由がありません。仮にあまりしゃべらなかつたとしても、食べながら同調しているだけで、互いのa感が増えて仲間良くなれます。

それは、自分とは異なる世代や価値観をもつ人たちと共存するうえで大切な知恵です。言葉によらない音楽的なコミュニケーションは、互い

を融和へと導くからです。

みんなと一緒に食べることはいかに楽しい営みかということを経験し、社会全体でもっと思い出すべきでしょう。

〔X〕ゴリラは「おねだり」されて食物を分け与えているという話をしましたが、じつは、そんな分ち合った食べ物、お互いにちよつと離れて仲間と一緒に食べているときが一番満足するようなんです。幸せそうに、ハミングを奏でるんですよ。

ウウウン、ウーウーウーウンーウーと、とてもメロディアスな声を出す。食べてるときにそんな鼻歌が伝染していつて、仲間たちでハーモニーを奏でている。森でそんな共鳴の輪のなかに一緒にいると、非常に感動的です。

共に食べることで、<sup>④</sup>響き合う時間は、本当に楽しいものなんですよ。

(山極寿一著「老いの思考法」による。)

(注1) プレリユードⅡ前奏。

1 ①〜④の漢字の読みを書きなさい。

2 1 共食は、とても音楽的な時間です。とあるが、それを説明した次の文の空欄Ⅰ〜Ⅲに当てはまる適切な表現を、文章中からそれぞれ、

Ⅰは二字、Ⅱは六字、Ⅲは二十六字で抜き出して書きなさい。

視覚と聴覚を共有して(Ⅰ)を楽しむ(Ⅱ)としての音楽と、(Ⅲ)共食は、よく似た体験だということ。

3 a にはまる適切な表現を、〔X〕以降の文章中から二字で抜き出して書きなさい。

4 2 人間に固有とあるが、どのようなことが人間だけと言えますか。最も適切なものを、次のア〜エの中から選び、その記号を書きなさい。

ア 毎日、食べ物を食べる。

イ 食べ物を自分の食べる分以上に確保する。

ウ 自分から仲間に食べ物を分かち合う。

エ 分かち合った食べ物を仲間と食べると満足する。

5 山本さんは、文章を正確に理解するために、内容を自分でまとめることにしました。次の【ノートの一部】は、山本さんが整理したものです。これを読んで、あとの(1)〜(3)に答えなさい。

○ 筆者の主張

- ・ 誰かと共に食べる時間は大きな意味がある
- ・ 食事は単に個々の食欲を満たすものではなく、他者との関係をつくるうえで共同体になくてはならない
- ・ 共食はいかに楽しい営みかということ

社会全体で思い出すべき

○ 筆者の主張

- ・ 誰かと共に食べる時間は大きな意味がある
- ・ 食事は単に個々の食欲を満たすものではなく、他者との関係をつくるうえで共同体になくてはならない
- ・ 共食はいかに楽しい営みかということ

社会全体で思い出すべき

○ 筆者の主張から分かったことや考えたこと

- ・ 筆者は孤食に問題を感じている
- ・ 大きな意味とは (VII)
- ・ ゴリラのハミングは共食の楽しみの象徴
- ・ ゴリラは覚えていても人は忘れていないのではないか
- ・ 私たち中学生にとっての共食の場面とは？

↓ (具体例) (VIII)

互いを融和へと導く (VI)

異なる感覚を「同調」させる時間

原因

孤食：独りでご飯を食べるお年寄りの増加 (IV)

共食：誰かと共に食べる (V)

- (1) 空欄Ⅳ～Ⅵに当てはまる適切な表現を、Ⅳは二十五字以内、Ⅴは十字以内、Ⅵは二字で書きなさい。
- (2) 空欄Ⅶに当てはまる適切な表現を、【ノートの一部】の「○ 筆者の主張」から十字で抜き出して書きなさい。
- (3) 空欄Ⅷに当てはまる適切な表現を、文章中の内容を踏まえて、十字以内で書きなさい。

問題は、次のページに続きます。

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

むかし、おとこ有けり。人のむすめのかしづく、

良家の娘で、親が大切に育てている娘が

いかでこのおとこに物いはむと思けり。うち出でむことかたくやあり  
何とかしてこの男と親しくしたい。

その思いを言い出そうとしても、でき  
にくかったのか

けむ、物病みになりて死ぬべき時に、「かくこそ思しか」といひけるを、  
病気になつて このように思いをかけた

親聞きつけて、泣く泣く告げたりければ、まどひ来たりけれど、死にけ

れば、つれづれとこもりをりけり。時は六月のつごもり、いと暑きころ

をひに、夜ぬは遊びをりて、夜ふけて、やや涼しき風吹きけり。蛩たかく

管弦を奏で、

飛びあがる。このおとこ、見臥せりて、  
櫛になつたまま眺めて

ゆく蛩雲のうへまで去ぬべくは秋風ふくと雁に告げこせ

飛んで行く蛩よ、雲の上まで行くことができるのだつたら、下界では秋風が吹いている。  
だから早くかえつてくるようにと雁に告げておくれ。

暮れがたき夏の日ぐらしながむればそのこととなく物ぞ悲しき

（「伊勢物語」による。）

1 いひける 2 こもりをり  
の記号を書きなさい。

- ア おとこ イ むすめ ウ 親 エ 蛩 オ 雁

2 六月の季節として最も適当なものを次のア、エの中から選び、  
その記号を書きなさい。

- ア 晩春 イ 初夏 ウ 晩夏 エ 仲秋

3 4 ころをひ を、現代仮名遣いで書きなさい。

4 田中さんは、国語の時間に学習した古文の内容や和歌の内容についてさらに理解を深めたいと思ひ、学校図書館で関連する本を探しました。次の【資料1】・【資料2】は、その本の内容の一部を抜粋したものです。これを読んで、あとの(1)～(5)に答えなさい。

【資料1】古文の内容について

(Ⅰ)も恋のうち、と言う。ただしそれは、(Ⅰ)をしてい  
るほうのことであつて、(Ⅰ)をされているほうは、恋に関わつ  
ているなんて夢にも思わない。ある日突然知らない人がやつて来て、  
「実はうちの娘が」

Ⅱ

(Ⅱ)と泣く泣

く告げられたら、誰だつてびっくりしてしまふだろう。(中略)人か  
ら好かれて悪い気する人はいないだろう。が、自分のせいで  
病気になつたと言われても、ちよつと困るなあ……というのが  
男の正直な気持ちだつたのではないだろうか。

(俵万智著「恋する伊勢物語」による。)

【資料2】和歌（暮れがたき…）の内容について

（Ⅲ）なるままに喪に服していると、なんとはなしに悲しくなってきた男。これは、お嬢様の死に対する悲しみというよりは、漠然とした人生の悲しさを、男が感じたということだろうと思う。たぶん、（Ⅲ）なるままに、恋というものについて思いをめぐらせたりしたのではないだろうか。その結果、ちよつとセンチメンタルな気分になってしまった感じが、よく出ている。

（俵万智著「恋する伊勢物語」による。）

- (1) 空欄Ⅰに当てはまる適切な表現を、五字以内で書きなさい。
- (2) 空欄Ⅱに当てはまる適切な表現を、三十字以内で書きなさい。
- (3) ちよつと困るなあ とあるが、この時の男の気持ちを表す表現を、文章中から五字以内の古文で抜き出して書きなさい。
- (4) 空欄Ⅲに当てはまる適切な表現を、文章中から五字以内の古文で抜き出して書きなさい。
- (5) 次のア～エの中で、文章の内容に合っているものはどれですか。最も適切なものを、次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。
- ア 男は、むすめと会えたことをうれしく思い、和歌を二首詠んだ。
- イ むすめは、男性に会えたので、思い残すことは無かった。
- ウ 男は、困惑したものの、喪に服してむすめに思いをさせている。
- エ むすめは、言えなかった自分の気持ちを、泣く泣く親に告げた。